

特集

LGWANが提供する基本的アプリケーション

今回は、基本アプリケーション・サービス及びそれに位置づけられているLGWAN掲示板サービス、LGWANメーリングリストサービス及びLGWAN-Webアンケートサービスについて説明します。

1 基本アプリケーション・サービスとは

基本アプリケーション・サービスとは、総合行政ネットワーク基本要綱の第6条2項に規定するLGWANがサービスする基本的なアプリケーションのことであり、電子メール送受信、LGWAN電子文書交換システム、LGWAN掲示板サービス及びLGWANメーリングリストサービスなどを指します。

LGWAN参加団体（以下「参加団体」という。）は、これらの基本アプリケーション・サービスを利用す

ることにより、参加団体相互間及び霞が関WANに接続する省庁との情報交換、情報共有等が実現され、行政事務の効率化を図ることができます。また、LGWANを使用することにより、インターネットと比較して、より安全な情報交換等が行えます。

現在の基本アプリケーション・サービスの体系は、図－1のとおりです。

2 基本アプリケーション・サービスの利用方法

図－1 基本アプリケーション・サービス体系

LGWAN基本アプリケーション・サービス

LGWAN 電子文書交換システム

文書鑑の作成及び文書の作成、電子署名の付与、文書の送受信を行うサービス。
サービスの目的は、利用団体間の対象文書の迅速かつ確実な交換の実現、電子文書の交換における記録内容の秘密性及び発送者・収受者の真正性の確保。

LGWAN 掲示板サービス

一般利用者（地方公共団体職員）が掲示板を開設・管理・利用できるサービス。
LGWAN内において、様々なテーマに沿った掲示板を開設し、情報共有、意見交換を行うことが可能。

LGWAN メーリングリストサービス

登録された特定のメンバーに一斉同報メールを送るサービス。
LGWAN内でのメールを効率的に利用し、コミュニケーションを図ることが可能。

LGWAN 参加団体等情報共有管理サービス

LGWAN接続にかかる各種手続（申請処理、申請に関する照会、連絡等）をオンライン化したサービス。
サービスの目的は、事務の効率化及び迅速化。

地方公共団体組織ディレクトリサービス

地方公共団体の基本情報や組織機構に関する情報の登録により、アドレス帳や電話帳のような情報の共有化を実現。
LGWANで提供される各種アプリケーションのアクセスに必要な利用者認証の一元的な管理を実現。
情報の共有と併せて高度なセキュリティが効率的に運用可能。

証明書発行等申請管理システム（CIRS）

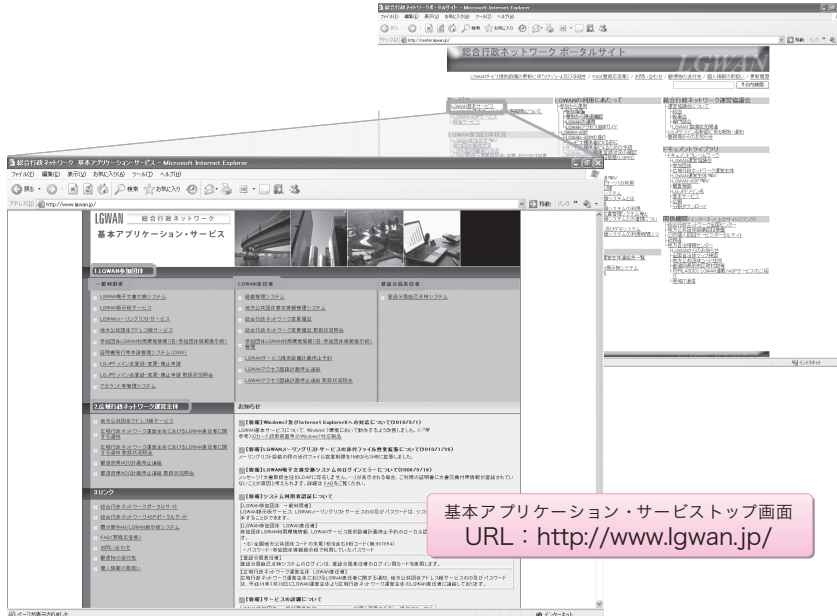
職責、利用者及びメール用証明書の発行、更新、失効及び配しの各申請、Webサーバ及びコードサイン証明書発行及び失効の各申請、LGWAN電子文書交換システムを利用する際に必要となる文書交換付帯情報の登録を行うサービス。

参加団体は、図－2に示す基本アプリケーション・サービスのトップ画面からLGWAN電子文書交換システム及び各Webアプリケーションを利用することができます。

トップ画面は、総合行政ネットワークポータルサイトから移動することができ、一般利用者、LGWAN責任者、登録分局責任者及び広域行政ネットワーク運営主体というように、利用者の人格別にメニューを構成しています。

基本アプリケーション・サービスの利用にあたっては、ブラウザ等の動作環境設定、認証基盤用ICカードの調達、証明書

図-2 基本アプリケーション・サービスのトップ画面



基本アプリケーション・サービストップ画面
URL : <http://www.lgwan.jp/>

《参考》

■ドキュメントライブラリ>基本サービス

<http://center.lgwan.jp/library/index.html#kihonsa-bisu>

3 LGWAN掲示板サービス

(1) LGWAN掲示板サービスとは

LGWAN掲示板サービス（以下「掲示板サービス」という。）の利用は、平成19年4月から開始されました（図-3）。

ア 特長

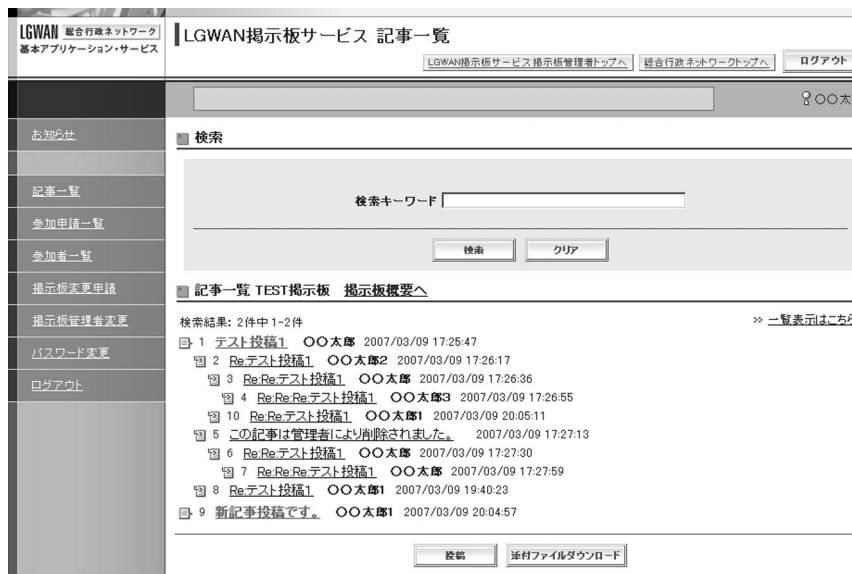
参加団体（利用者）間の情報交換を目的としており、LGWANの利用者であれば誰でも、申請によりLGWAN上で掲示板を開設することができます。

利用用途により、図-4のような掲示板の種類を設定することが可能です。なお、本サービスは、専用のソフトウェアを利用することなく、ブラウザから利用することができます。

イ 開設状況

開設されている掲示板は、平成22年10月12日現在58件です。多くは都道府県職員が管理者となっており、市区町村

図-3 LGWAN掲示板サービス記事一覧画面



の発行及び利用環境の設定等を事前に完了させておく必要があります。利用するサービスにより必要な環境が異なりますので、詳細は総合行政ネットワークポータルサイト（URL：<http://center.lgwan.jp>）から以下の文書を参照してください。

職員が開設している掲示板はまだ少数です。サービス開始当初は、情報関連部署の管理者がほとんどでしたが、最近は他部門も増えています。

なお、掲示板のカテゴリ別開設状況は、図-5のとおりです。

図-4 LGWAN 掲示板サービスの種類

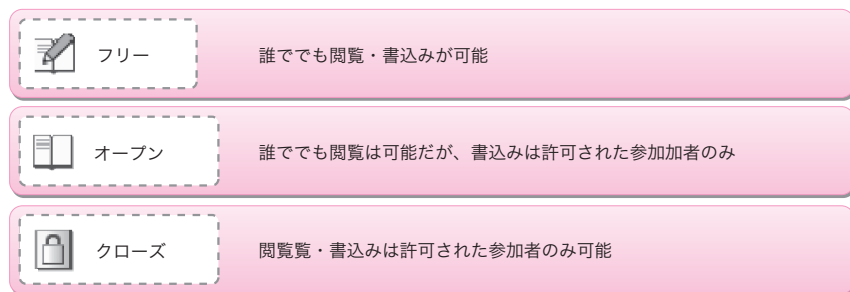
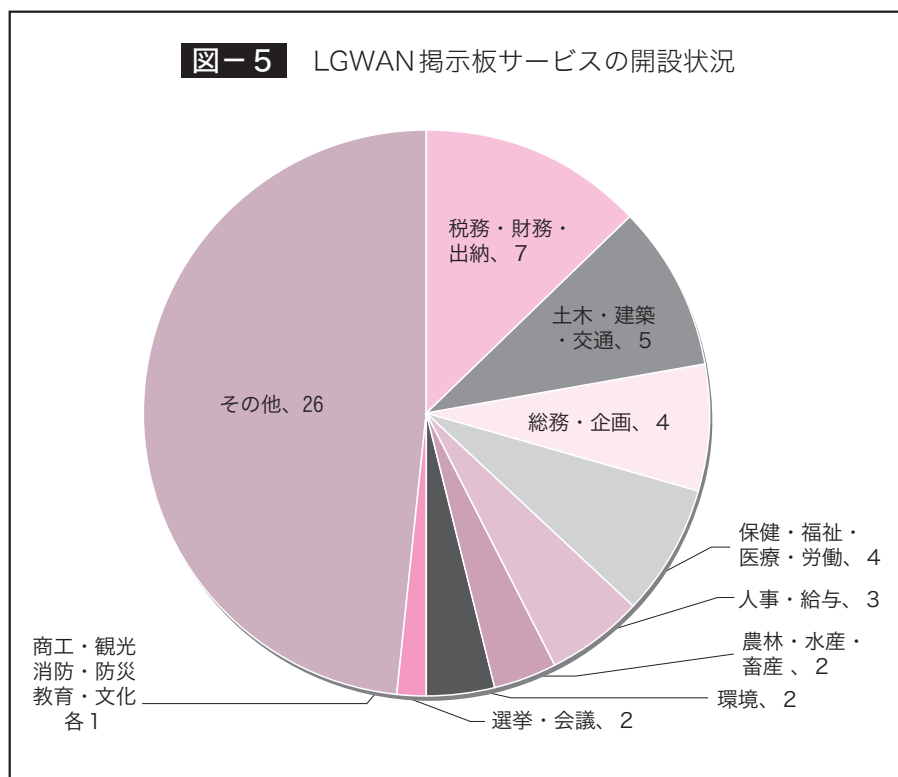


図-5 LGWAN 掲示板サービスの開設状況



(2) 掲示板サービスの利用方法

掲示板サービスの利用及び掲示板開設方法は、図-6のとおりです。

掲示板サービスの詳細な利用方法については、「LGWAN基本アプリケーション・サービス利用と運用の手引（一般利用者向け）LGWAN 掲示板サービス編」（<http://center.lgwan.jp/library/index.html#K-5-1-1>）を参照してください。

(3) 掲示板サービスの活用事例

次のような連絡事務や情報交換、アンケートなどに利用されています。

- ・一つの電子申請システム等を複数の地方公共団体が共同して運営する場合や、協議会等の特定組織における連絡・通知
 - ・保健・土木・防災等、特定の行政事務における連絡・調整、情報交換・共有
 - ・都道府県による市区町村向けアンケートの回答回収
 - ・ファイル添付機能を利用した、特定業務の文書管理や配布
- また、掲示板の参加者は、次の組み合わせで構成される例が多くみられます。

- ・都道府県及び管内市区町村
- ・本庁と出先機関
- ・複数都道府県の同一業務担当者

ある県においては、残業時間の軽減に向けて業務改善を検討していましたが、この取り組みにおける県と市町村間の情報提供・情報交換のツールとして、既存のLGWAN 掲示板サービスを活用することがコスト面、セキュリティ面でより効果的と

判断し、試行している事例もあります。

4 LGWAN メーリングリストサービス

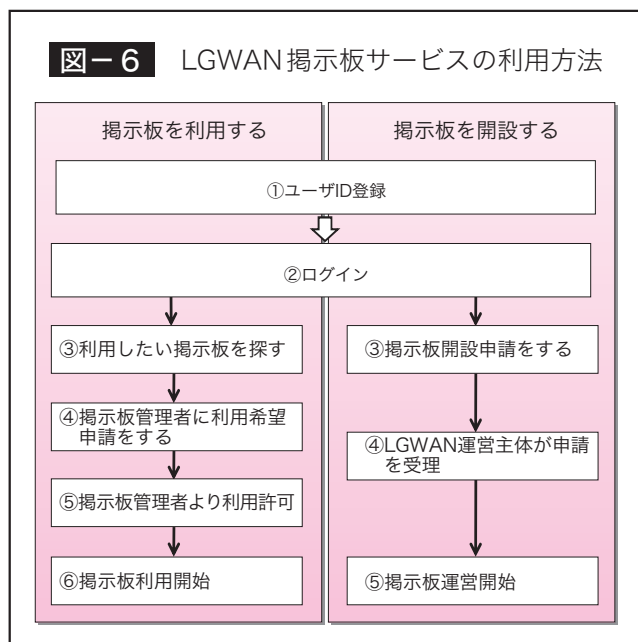
(1) LGWAN メーリングリストサービスとは

LGWAN メーリングリストサービス（以下「ML サービス」という。）の利用は、平成18年6月から開始されました。

ア 特長

参加団体（利用者）間の情報交換を目的としており、LGWANの利用者なら誰でも、申請によりLGWAN上でMLを容易に開設することができます

図－６ LGWAN 掲示板サービスの利用方法



図－７ LGWAN メーリングリストサービス開設申請画面

(図－７)。

イ 開設状況

開設されている ML は、平成22年10月12日現在53件です。掲示板サービスと同様に、都道府県職員が開設者となるケースが多く見受けられます。サービス開始当初は、情報関連部署の管理者がほとんどでしたが、最近は他部門の方も増えてきました。

なお、ML のカテゴリ別開設状況は、図－８のとおりです。

(2) ML サービスの利用方法

ML の利用及び ML 開設までの流れは、掲示板サービスと同様です。

ML サービスの詳細な利用方法については、「LGWAN 基本アプリケーション・サービス利用と運用の手引（一般利用者向け）LGWAN メーリングリストサービス編」(<http://center.lgwan.jp/library/index.html#K-5-1-1>) を参照してください。

(3) ML サービス活用事例

次のような連絡事務や情報交換に利用されています。

- ・ LGWAN や公的個人認証サービス、住民基本台帳ネットワークシステムに関する連絡・通知
- ・ 電子申請システム等共同運営に関連した、協議会

等の特定組織における連絡・通知

- ・ 農林・土木・教育等、特定の行政事務における連絡・調整、情報交換

また、ML の参加者は、次の組み合わせで構成される例が多くみられます。

- ・ 都道府県及び管内市区町村
- ・ 本庁と出先機関
- ・ 部署を跨いだ業務横断プロジェクトにおけるメンバー間の相互連絡
- ・ 人事・総務部門等が発信する庁内報
- ・ システム管理部門（広域及び庁内）等が発信するシステムメンテナンス等の告知

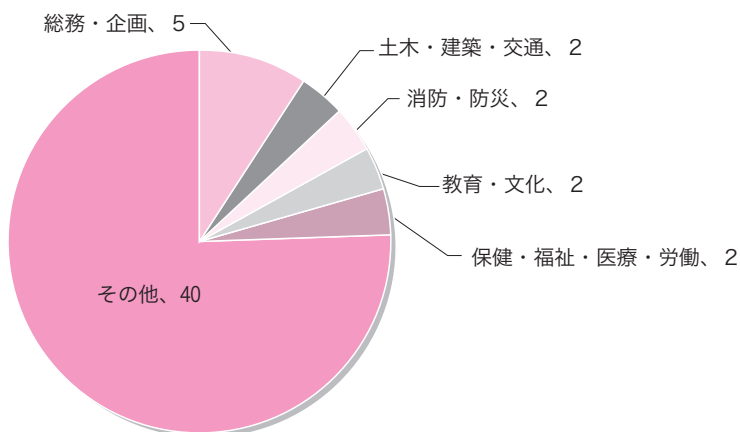
掲示板同様、既に LGWAN を利用する環境があれば、利用に際し新たな費用は発生しません。ブラウザから必要事項を入力することで簡単に開設ができ、突発的な利用停止も可能ですので、気軽に利用してください。

5 LGWAN-Web アンケートサービス

(1) LGWAN-Web アンケートサービスとは

LGWAN-Web アンケートサービス（以下「アンケートサービス」という。）は、アンケートを企画・実施する参加団体が、他の参加団体に対して行う場

図－８ LGWAN メーリングリストサービスの開設状況



図－９ LGWAN-Webのアンケートサービスの運用フロー



合に、LGWANのWeb画面で容易に効率的に実施するためサービスです。

(2) アンケートサービスの特長

アンケートサービスには、次のような特長があります。

- ・アンケート実施の低コスト化

アンケートサービスの利用を申請する参加団体（以下「申請団体」という。）は、新規のシステムを用意する必要はありません。また、アンケート回答団体（以下「回答団体」という。）においても特別

の端末は必要ありません。

- ・セキュリティを確保したアンケート

回答団体のログイン認証にはPKI（公開鍵暗号基盤）を利用します。また、インターネット等の外部ネットワークとは隔離されたLGWAN上でアンケートを実施するため信頼性・機密性・安全性に優れています

- ・自由度の高い調査票設計

回答形式については、単一回答形式、複数回答形式及び自由記述回答形式の三つに対応しているため、自由度の高い調査が可能です。

(3) アンケートサービスの利用方法

アンケートサービスの運用フローは、図－９のとおりです。

①アンケートサービスの申請

申請団体は、LGWAN－Webアンケートサービス申請書（以下「申請書」という。）を総合行政ネットワーク運営主体（以下「運営主体」という。）に提出する。

②アンケートサービスの受付等

運営主体は、申請書に特段の問題がない場合には、アンケートサービスの作成・開始設定を行い、申請団体に開始についての連絡を行う。

③アンケートサービスの開始

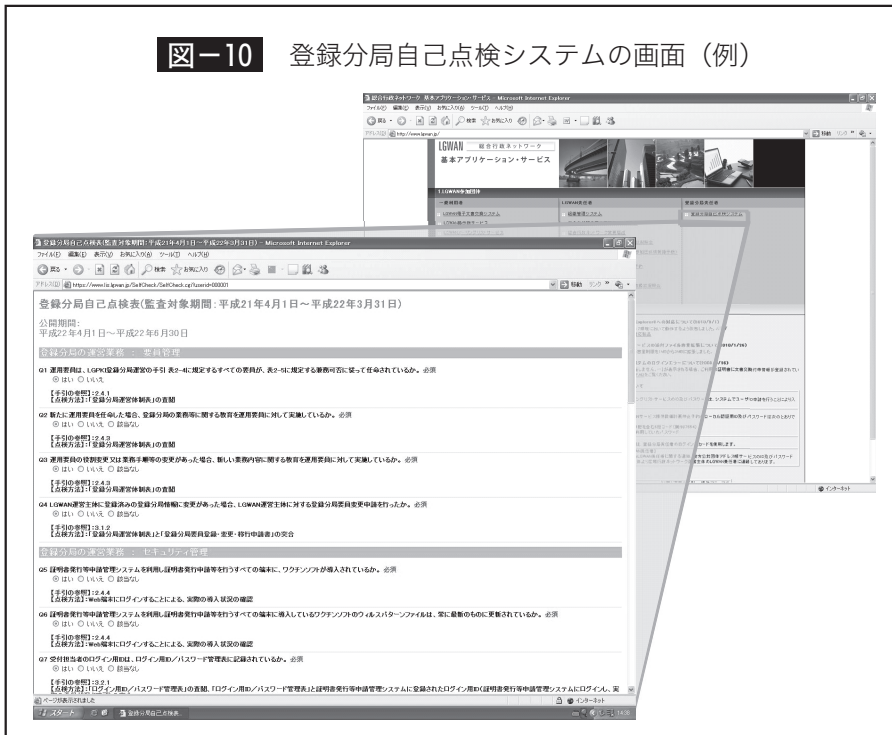
申請団体は、回答団体へアンケートサービスの開始連絡を行う。

④アンケートサービスの回答

回答団体は、アンケートの回答を行う。

⑤アンケートサービスの集計

図-10 登録分局自己点検システムの画面（例）



クトリサービス編」(<http://center.lgwan.jp/library/index.html#K-5-3-1>)を参照してください。

（４）アンケートサービスの活用事例

最後に、アンケートサービスを利用した登録分局自己点検システムについて紹介します（図-10）。

地方公共団体組織認証基盤では、「地方公共団体組織認証基盤の運営に関する基本綱領」及びCP/CPSに基づく登録分局監査の一環として、登録分局※¹は自らの業務実績を1年に1度

アンケート期限終了後、運営主体は、アンケートの終了設定、集計情報を申請団体へ送付する。

申請団体は、運営主体からLGWAN-Webアンケートサービスの集計情報を取得する。

Webアンケートサービスの詳細な利用方法については、「LGWAN基本アプリケーション・サービス利用と運用の手引（広域行政ネットワーク運営主体LGWAN責任者向け）地方公共団体組織ディレ

点検し、その結果をLGWAN運営主体に報告することとしています。この報告の際に使用しているのが、本アンケートサービスです。

アンケートの開設はブラウザからの申請とは異なり、申込書提出による申請となりますが、他のサービス同様、短期間での開設が可能です。ぜひご利用ください。

※1 LGWAN運営主体の担う業務のうち、登録局としての業務の一部を参加団体に委任しており、委任された業務を行うために参加団体が整備する体制のこと。

LGWAN-ASPサービス接続／登録状況（平成22年10月12日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の接続／登録状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録	210件	■ホスティング	接続	117件
■通信	登録	159件	■ファシリティ	登録	207件

接続／登録済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しております。

<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/15,0,41.html>